

1 PLAN(目的・概要)

その他経常業務

政策名	安全	25年度事業・施策評価結果			責任者	総務部 担当課長(防災・危機管理担当)
施策名	防災・危機管理機能の強化	成果	コスト			
事務事業名	防災用資機材の確保	継続	維持	維持	連絡先	052-654-7813
					連携課	海務課
目的	対象(誰・何を)	防災用資機材(油吸着マット、油処理剤)			事業期間	昭和38年度～継続
	意図(どういう状態にしたいか)	保管数量及び保管場所を適正に確保します。				
概要	防災計画に基づき、防災用資機材の保管数量及び保管場所の適正化を図るとともに、資機材の点検を行い、不良な物は更新します。			根拠法令等	名古屋港管理組合 防災計画	
活動内容	防災用資機材の点検を実施します。			実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
				関連シート		

2 DO(実施)

コスト	単位	24年度	25年度	26年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	0	0	0	0	
人件費	千円	436	438	440	438	
合計	千円	436	438	440	438	

3 CHECK(検証)

指標名		24年度	25年度	26年度	中間目標 30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
防災資材の点検(回) (単年度管理型)	目標	-	-	1	1	防災資機材の点検回数	
	実績	1	1	1			
	事業進捗状況(26年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る		
保管基準量に対する 在庫数(個) (単年度管理型)	目標	-	-	6,668	6,668	油吸着マット、油処理剤の在庫確保数	
	実績	6,668	6,668	6,668			
	事業進捗状況(26年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る		
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	点検を実施した結果、保管数量及び保管場所の適正化が図られました。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○ 防災用資機材を確保することは、港湾区域内の事故対応に当たるため、本組合として必要性の高い事業です。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○					
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○ 資機材の点検を計画どおり実施することにより、必要な資機材の確保の確認が行えたため、目標を達成することができました。					
	期待どおりの成果が得られているか?	○					
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 流出油対策の防災用資機材の保有は港湾管理者の責務であり、事業費に関しては、事件・事故等の原因者が特定されれば費用負担させているため、必要最小限のコストとなりました。					

4 ACTION(取組)

課題	27年度以降の取組
防災用資機材の保管数量及び保管場所を適正に確保することが必要です。	今後も引き続き、防災用資機材の点検を行い、防災用資機材の保管数量及び保管場所を適正に確保していきます。